

学校支援を積極的に進める

健やかななんぶっ子の成長を支えるPTA活動

阿久比町立南部小学校PTA

1 はじめに

本校は、知多半島中部にある阿久比町の南部に位置する。大正9年に阿久比第四尋常小学校として開校し、令和2年度に創立100周年を迎えた歴史ある学校である。小高い丘の上であり、学区内には数多くの寺がある。また、阿久比町は「ホテルの飛び交う町」として知られており、自然豊かな地域である。児童数は359名、学級数は18（うち特別支援学級6）である。



【創立100周年記念（令和2年度）】

「強く 明るく より高く」の校訓のもと、「笑顔いっぱい 元気いっぱい 優しさいっぱい の南部小学校」を目指して教育活動を行っている。住民の多くが本校の卒業生や元PTAであることもあり、小学校にとっても協力的な地域である。

2 研究への取組

(1) 研究のねらい

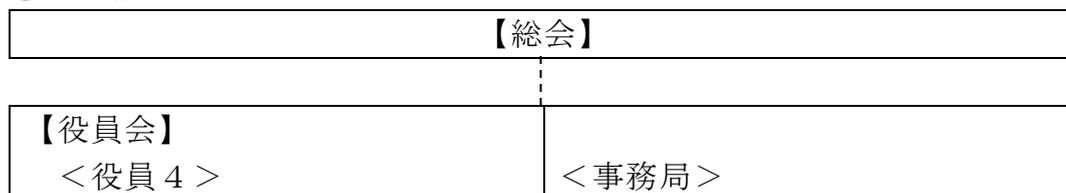
本校PTAは、「教育の振興に協力し、児童の福祉を増進すること」を目的として活動している。保護者と教職員が協働してPTA活動の充実を図ることで、児童の健やかな成長を支えている。具体的には、教育環境の整備・充実を図ったり、各種行事等へ積極的に関わったりすることで学校を支えている。

しかし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、活動が中止となったり、制限を設けて実施したりすることとなった。

そこで、今まで取り組んできた実践と今年度取り組むことができた活動についてまとめていくこととした。

(2) 研究の組織と活動計画

① 組織



会 長 1 副会長 1	副会長 1 (校長)
母親代表 1 会 計 1	書 記 2 (教頭・教務)
	会 計 1 (校務)

【理事会】			
<役員 4><事務局 4>			
<理事 18>			
総 務 1	広 報 3	研 修 2	生活安全 2
第 1 保生 3	第 2 保生 3	環境整備 2	

② 活動計画

総務委員会	総会、理事会等の運営（理事会年 10 回） 書記、会計に関する事項 交通安全に関する事項
広報委員会	P T A 新聞の編集、発行（7 月・12 月・3 月） P T A 新聞づくり講習会への参加
研修委員会	南部ふれあいウォークの企画・開催（11 月） P T A 研修会の開催
生活安全委員会	校区街頭指導への参加（年 5 回） 生徒指導推進協議会への参加 下校安全パトロール実施（1 月） 学校周辺クリーン活動実施（12 月）
第 1 保生委員会	地区対抗球技大会（ドッジボール）の開催（5 月） P T A 来賓種目の企画（10 月） 学校保健委員会への参加（6 月・11 月）
第 2 保生委員会	P T A 来賓種目の運営（10 月） 学校保健委員会への参加（6 月・11 月）
環境整備委員会	環境整備作業の実施（8 月） 学校花壇植え替え作業援助

3 実践活動の概要

(1) 児童の安全に関わる支援

① 登校時の交通当番

児童が安心・安全に登校できるようにすることを目的として、毎月（ゼロ）の日の 10 日・20 日・30 日に通学路の各ポイントで立哨を行っ



【ゼロの日 交通立哨】

ている。生活安全委員会を中心に各字の理事が当番表を作成し、割り当てられた日の朝、通学路を通る全ての児童が通過するまでの間、見守り活動を行っている。ゼロの日には、教員も当番を決め、PTAとともに交通立哨をしている。

また、地域ボランティアの「見守り隊」の方も毎日登下校時に、危険な箇所を立ててくださったり、児童と一緒に歩いてくださったりしている。

② 交通安全教室の援助

本校では安全指導の一環として、5月・11月に交通安全教室を行っている。児童たちが正しい歩行の仕方や安全な自転車の乗り方を学ぶことをねらいとしている。学校周辺を自転車で乗り、交通ルールを学ぶ際に、PTA会員が町の交通指導員の補助をしている。



【交通安全教室の補助】

③ 環境整備作業

8月下旬の全校出校日に環境整備委員会が企画・準備をし、PTA・児童・教職員が除草・溝掃除等の環境整備作業を行っている。間もなく始まる新学期に向けて、環境を整えることができ、親子や地区の人たちと触れ合うよい機会となっている。令和2・3・4年度は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、中止となった。今年度はPTA理事・教職員で、10月に実施する予定である。



【令和元年度環境整備作業の様子】

④ 幼保小中高一斉あいさつ運動

阿久比町幼保小中一貫教育プロジェクトの一環として、毎年6月と11月の約5日間において、幼保小中高一斉あいさつ運動を行っている。PTA、地域、教職員が連携し、児童が登校する時間に通学路や交差点に立ち、活力ある一日を始めることができるよう、あいさつを交わし合っている。児童は、保護者とあいさつをすると、自然と笑顔になっている。また、子どもと大人があいさつを交わすことで、学区内を盛り上げることにも役立っている。

(2) 児童の健やかな成長に関わる支援

① P T A地区対抗球技大会

5月に、第1保生委員会が中心となり、P T A地区対抗球技大会を行っている。各地区の理事・地区委員が集まり審判講習会を行ったり、会場の準備をしたりしている。また、練習日を設定し、大会当日に向けて、地区ごとに練習を行う。大会当日は、P T A理事・第1保生委員・地区委員が会を運営する。



【P T A地区対抗球技大会練習会の様子】

子どもたちは、優勝を目指し一致団結して競技し、充実感を味わっている。

② 南部ふれあいウォーク

11月に、研修委員会と南部コミュニティが企画し、南部ふれあいウォークを行っている。地域の方・保護者・児童約600名が南部小学校の運動場に集合し、校区をウォーキングする。途中でチェックポイントを設け、P T Aが、スタンプカードに印を押したり、ジュースやあめを渡したりする。また、学校に戻ってきてからは、豪華賞品が当たる抽選会を行う。子どもからお年寄りまで健康的で楽しめる会になっている。令和2・3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施することができなかったが、今年度は行う予定である。



【令和元年度南部ふれあいウォークの様子】

4 おわりに

児童が心身ともに健やかに成長していくためには、学校と家庭・地域の協力体制が不可欠である。この研究を通して、これまで行ってきたP T A活動をはじめとする学校支援の活動は、児童の心身の健全な育成に欠かせないものであることが再認識できた。

コロナ禍で、中止になったり、縮小したり、予定通り実施したりするなど、さまざまな対応をしてきた。今後も、学校と家庭・地域がよりよい関係をつくれるよう、精選、工夫してP T A活動を行っていきたい。